

1 研究の概要

(1) 研究テーマ

佐賀県小・中学校学習状況調査等から見える課題の解決に向けた授業改善

(2) 学習状況調査の結果から見える小学校算数科の課題

全国学力・学習状況調査及び佐賀県小・中学校学習状況調査の結果を分析したところ、次のような点に課題が見えてきました。

- ・示された情報から、問題の解決に必要な情報を見いだしたり収集したり選択したりすること。
- ・問題文から数量の関係を図に表したり、図や表から数量の関係を把握したりするなど、示された情報を整理したり解釈したりすること。
- ・考えた方法や理由について言葉や数を用いて記述する際、場面の状況や問題の条件に基づいて、必要な事柄を過不足なく記述すること。

(3) 課題の解決に向けて、児童が身に付けるべき力

課題の解決に向けて、佐賀県の児童が身に付けるべき力を次のように整理しました。

課題の解決に向けて児童が身に付けるべき力

- ・示された情報から、問題の解決に必要な情報を見いだす力
- ・問題文から数量の関係を図に表したり、図や表から分かることを読み取ったりしながら、言葉や数、式、図、表、グラフなどの表現を相互に関連付けて考える力
- ・根拠となる事柄を示し、考えたことを説明する力

(4) 研究の目標

佐賀県小・中学校学習状況調査等から見える児童生徒の課題を解決するために、課題となっている事項の詳細を調査・分析し、課題となっている事項に対する効果的な授業改善策を探る。

(5) 研究の方法

- ・平成28年度佐賀県小・中学校学習状況調査[4月調査]の結果及び過去の佐賀県小・中学校学習状況調査の報告を基に、佐賀県の児童の学力の現状を考察して実態を把握します。
- ・課題の解決に向け、問題解決的な学習過程において、数学的に考え表現する力を身に付けさせるために、どのような問題提示を行ったり、表現する活動や説明する活動を取り入れたりすれば、より効果的な学習指導を行うことができるか理論研究を行います。
- ・授業改善策を取り入れた検証授業（公開授業）を通して、研究の妥当性を協議し、よりよい算数科の学習指導の在り方を探ります。

(6) 研究の内容

- ・検証授業（公開授業）を通して、「つかむ段階」での効果的な問題提示と、学び合う段階での表現したり説明したりする活動についての手立てを提案します。
- ・授業改善策を取り入れた授業展開案、教材等を作成し、研究委員の所属校において検証授業（公開授業）を行い、授業改善策の効果についての検証を行います。

- ・ 検証授業（公開授業）を基に授業改善策の修正を行い、授業展開案、教材、研究の成果等をまとめてWeb発信することで、県内の教職員へ授業改善プランを提案します。